

海外派遣留学生  
留学報告書

(HPに掲載します)

留学全体を振り返り、勉学・生活の両面について具体的にご記入ください。

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名(受講科目・複数可)

・科目名: EAP・GCE

時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~14:45	○	○	○	○	free	free	free
9:00~15:45	○	○	○	○	午前	free	free

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

EAPは、約20人で1クラスの構成になっています。いろんな国から来た人がいて、日本人だけという感じでは、ありません。EAPはEnglish for Academic Purposeの略です。このクラスでは、午前中は、reading and writingで午後は、speaking and listeningです。午前中の授業は、講義形式で聞く、演習する時間の方が多いです。午後の授業は逆に話す時間の方が多いです。自分でショートスピーチや、TED talkなどを聞いてその紹介をしたりしました。

GCEはGlobal Citizenship Throughの略です。クラスは、日本人だけでした。この授業では、カナダの問題だけでなく文化を調査してプレゼンテーションを作成するという授業です。現地の人やUBC学生にインタビューをしたりします。このプレゼンテーションは週に1つグループ作成します。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

私は、現地でできた友達とボーリングや勉強会、ディナーと一緒に食べたりしました。また、CAと呼ばれるUBCの学生がワークショップを開催してくれるのでそれに参加したりしていました。現地の友達と遊ぶことで、日頃から英語を喋る環境を作りました。遊びを通して学ぶことが多くありました。習った英語を実践していくことで、英語がすらすらと出てくるようになります。また、「今までこれってどう使うのだろう?」と思っていたことが、「こうやって使うのか」と繋がって来たりします。ボーリングやビリヤードだけでなく、近くのビーチなどに行って散歩したり、カフェに行ったりしていました。たくさんのビーチがある中で、たくさんの特徴があったりします。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

- ・AMS Student Nest (NEST) - Various Informal Learning Spaces
- ・UBC bookstore
- ・Irving K. Barber Learning Centre - 学習センター
- ・UBC Faculty of Arts - UBC 教養学部

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋: 1部屋\_1人で使用

様子: 部屋には、デスクと照明、ベッドなどと最小限の家具でした。洗濯とかは自分でいつでもしていいという感じでした。また、シャワーは別々になっていていつでも入ってよかった

海外派遣留学生  
留学報告書

(HPに掲載します)

です。私の家には、住み込みのドイツ人のベビーシッターがいたので、そのドイツ人の方と、シャワーとトイレは共用でした。また、息子が二人いたのでその子たちと一緒に遊んだりしていました。

**[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。**

● **楽しかったこと:**

何かイベントに積極的に参加することで友達も増えた。友達と遊ぶことで自然に英語を喋るようになってくるので、英語での言い回しとか実践的な英語やスラングを学ぶことができた。また、メッセージすることでも、たくさんの言い回しなどを知ることができた。

● **苦労したこと:**

学校が始まって一週間は、学校から帰ってきたら気持ちは疲れていないが頭は疲れていたのが最初は寝るだけになっていた。そのため、自分の時間を作るのが難しかった。

**[7] 留学の成果について教えてください**

1) **語学力の向上:**

日常会話の中でも、1通りの伝え方だけでなくさまざまな言い回しを覚えることができた。日本脳から英語脳への切り替えがとてもスムーズにできるようになった。

2) **専門知識の向上:**

日本とカナダの文化の違いを学ぶことができた。また、カナダでは環境問題や世界の問題についてどのような政策がされているのかを学ぶことができた。

3) **自己成長など**

日本脳から英語脳への切り替えがとてもスムーズにできるようになった。少し日本語で会話するように英語で会話できるようになった。ボランティアに参加したことやディベートがあったりした時に積極的に参加したことで、友達がたくさんできた。

**[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！**

留学の期間は、本当にとっても短く感じます。限られた期間の中で、言語能力を上げられるかは自分次第です。全てのことを人に頼り、流れに身を任せることはしないようにしましょう。しっかり自分で何をするのかなどを考えて行動することが自分のためになります。帰国してから「これやればよかった」などと後悔することはできるだけないようにしましょう。自分の興味あることがあるならば、挑戦してみるといいでしょう。自分は、現地でボランティアに参加したことでコミュニティーが広がっただけでなく、自分が何をしたいのかが少し見えるようになりました。また、日本語で会話するのを控えるのも一つのいいことです。確かに日本人といえるのはとても安心感があります。しかし、せっかく留学しているのだから現地の英語に触れて失敗を繰り返し成長していくのが留学の醍醐味だと思います。

海外派遣留学生  
留学報告書

(HP に掲載します)

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	863,900
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	20,000
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	35,000
現地からの奨学金がある場合	0
お土産代や個人的な買い物	170,000
その他( )	
留学に関する費用の総額	1,088,900

[10] ホームページに掲載する留学中の写真を貼り付けてください。(複数枚可)

※寮や授業、ホームステイ先など、なるべくご自身が映っている写真をお願いします！



海外派遣留学生  
留学報告書  
(HPに掲載します)



海外派遣留学生  
留学報告書  
(HPに掲載します)



海外派遣留学生  
留学報告書  
(HPに掲載します)



海外派遣留学生  
留学報告書  
(HPに掲載します)

